

陽だまり

雪の聖母園 令和4年 Vol.18

社会福祉法人雪の聖母園

理事長 上杉昌弘

今年も暮れて、クリスマスを迎える季節となりました。

この場を借りて今年もお世話になった皆様へ御礼申し上げます。この一年一緒に暮らし働いて下さった利用者皆さん、日々懸命に職務に励み「子ら」を見守りお世話された職員皆さん、園に子供を預けた親御様と家族の皆様、私達を暖かな心で見守り何くれとなく協力してください。月形町の皆様、残念ながら11月にコロナ感染者多数となった時にも、利用者の側に立って奮闘してください。町立病院の皆さん、ボランティアの方々、祈りで支えてくださった教会の皆さん、そして何より天国の木内神父様、子らの養育に関わり今は天に召された諸先輩たち、神様のもとに旅立った卒園生のみなさん心より感謝いたします。

また新年に向けて、皆様の暖かなお志をお願いいたします。父なる神様、主イエスキリス

ト、母マリア、聖ヨゼフ、私たちが良いことをしたいと思っても行き届かず、至らなかつた私達を、支え導き励ましてくださったこと感謝します。

10月に、当法人の4施設の中堅職員が集まり研修会が行われました。その冒頭で、木内神父様と雪の聖母園を描いたNHK制作のDVD「ある人生」(雪の中の熊笹学園)(S41年テレビ放映)を見ました。子供たちの嬉しそうな笑顔がまぶしく、心とみましました。子らを見つめ、

さとし、遊ぶ木内氏の慈愛に満ちた父の面影、丁寧な言葉遣いに惹きつけられました。本当に子らを愛されたんだと、あらためて感慨ひとしおでした。

子たちが可愛い(のですが)というよりも、神がお与えになつたその存在の美しさ、素晴らしさへの敬意すら感じさせる師の眼差しがそこにありました。木内神父様の書いた「人この未知なるものへの探求」より...

「この子らは...私達にはわからないすばらしい可能性を持っている。そのうえ、神はこの子らにおいて、愛され、尊敬され、仕えられることを望んでいる。『これらの小さいものにしたこととは、私にしてくれたことなのだ』^{P28}

主キリストの誕生を祝う時、「インマヌエル」とも知られる神」と呼ばれた神の子の現存を子らの中に見出した師の心をここに刻みたい、と思います。

社会福祉法人雪の聖母園

常務理事 三戸部 隆

2020年1月16日、日本国内において初の新型コロナウイルス陽性者が報告されてからやがて丸3年になるうとしています。未だ感染拡大が収束する気配は一向に覗えません。

私も雪の聖母園の各事業所も例外ではなく、月形・夕張地区ともにクラスターが発生し、その対応に追われた一年でありました。

状態になるような方はおらず、多くの方は施設内療養で回復に向かう事ができましたが、月形地区では入院療養を強いられる方が数名居りました。

しかし、お陰をもちましてこの方たちも月形町立病院のご協力により、順調に回復することができました。こういった中、

法人の抱えるいくつかの課題についても待たななしの状況ではありませんが、中でもとりわけ急がれるのが、障がい者施設の高齢化に対する対応と、障がい・保育を問わず、進行する人口減少による利用状況の変化への対応ということであります。もと

よりこれらのことに取り組むためには、それぞれの地域に根差した法人経営ということが求められますし、関係の皆様のご理解とご協力が無ければ成しえるものではないと考えますので、今後ともよろしくお願いいたします。

あわりになります。新しい年が皆様にとって実り多い年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

活動紹介

余暇の時間は、雪の聖母園周辺を散歩し、農耕の畑で育つ野菜の観察や虫、鳥を追いかけ身体を動かして、季節を感じる事ができました。

また、美唄や当別の近隣へドライブに行きました。晩夏、晩秋の色とりどりの木々を眺め、季節の移り変わりを実感しています。

制限がある日々が続くなか、数少ない外出の機会に見える利用者の笑顔。余暇の充実があるから日々の作業や活動への意欲が湧き、余暇の楽しみがあるから大変な作業をも頑張れるのだと思います。雪の聖母園、オプスが一体となり利用者の人生の充実に向けてこれからも支援していきます。



「散髪」髪を切ってサッパリ！
満面の笑顔



9月23日、第30回雪の聖母園祭が開催されました。
ライフネットゆうばりカレーハウス朋の特製カレーやマンマルーナのワッフル等を食べ、職員の余興、恒例の「お楽しみ抽選会」も大盛況でした。
『みんなアート2022』に入選した作品「ひな祭り」の表彰式も行いました。

雪の聖母園祭



大勢の前で表彰式

おめでとうございます！今後の大作に期待！！

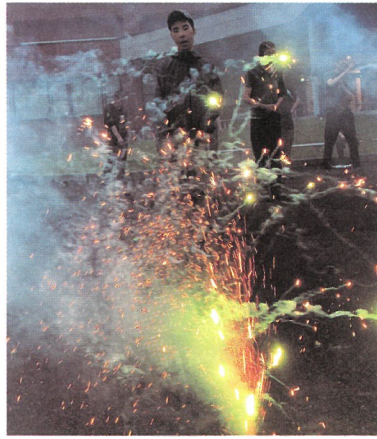




「余興」会場にいる皆がノリノリ！ストレス発散！



「長蛇の列」長蛇の列の先には何が待っているの？



顔で追いかけてました。ふわと落ちてくる落下傘を笑

8月 七夕花火大会

伊達カルメル会修道院様から

のご寄付で購入したアイスを

いただきました。花火を楽し

みました。落下傘の打ち上げ



米寿お祝い

施設入所をご利用されて

いる方で今年88歳を迎え

る方がありました。

当施設では一番のお姉

さんです。今回はお祝い

もかねて、優雅にお茶会

を開催しました。



就労支援センター オプスノマンマルーナ

オプスノドライブ外出

今年も新型コロナウイルス感染予防のため、旅行が中止となってしまいました。楽しみしていた利用者の皆さんにとっては、とても残念だったと思います。

そこで、オプスとして毎日お仕事を頑張っていることもあり、茶話会の行事として「秋満喫ドライブと軽食を楽しもう」を企画しました。

今回は感染予防の為、それぞれ作業班ごとのドライブです。浦臼町の道の駅つるぬまと公園を散策し、帰りにマンマルーナでジェラートアイスとチョコスを食べ、買い物もしました。皆さん久しぶりの外出で、アイスやおやつを食べ「楽しかった」と話していました。これからも、皆さんの意見を聞きながらイベントを企画していきたいと思えます。



マンマルーナ1周年

11月3日、皆様の支えもあり、マンマルーナが1周年を迎えることができました。

1周年のイベントを企画していましたが、新型コロナウイルス感染症対策の為、泣く泣く延期に…。月形町内の感染状況は未だ衰えないこともあり、落ち着いてから改めて企画したいと思います。

新型コロナウイルスに負けずに頑張りましょう。

マンマルーナ

新商品のお知らせ



からあげ丼 500円 (テイクアウト可)



揚げパン 120円

余暇イベント



お盆期間は新型コロナウイルスの影響により帰省ができなかった為、利用者の皆さんと職員で8月12日に2グループに分かれて焼肉イベントを行いました。

屋外では、職員と利用者の皆さんが協力しながらテントを立て、火起こし等を張り切って準備していました。

当日は曇り空でしたが、美味しそうに焼肉や焼きそばを食べ、利用者の皆さんの楽しそうな笑顔が見られた一日でした。



避難訓練

9月19日には、月形消防署の職員立合いのもと、グループホームの火災想定避難訓練を行いました。

火災報知器が作動しても利用者の皆さんは落ち着いて避難し、職員がいるグループホームへ連絡していました。

今後もあらゆる自然災害を想定した訓練を行い、また感染予防にも努めながら、利用者の皆さんが安全に暮らしていけるよう職員一同支援に励んでいきたいと思えます。



ライフネット ゆうばり園祭／事業紹介

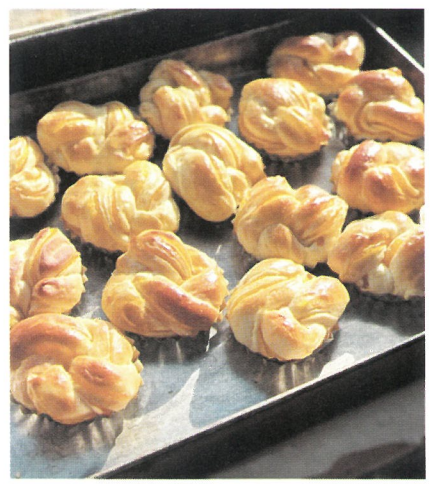
ゆうばり園祭

夏の恒例行事だった「ふれあい祭り」が3年連続の中止となり、今年度も利用者の皆さんと職員のみで「ライフネット ゆうばり夏祭り」を開催しました。

前日準備から手伝ってくださった利用者の方は、雨天にもかかわらず、当日も朝から準備に来ており、開始を待ちきれない様子でした。

出店では、鉄板メニユーのカレーライス、焼き鳥、フランクフルト、かき氷が出されました。今年度のかき氷機は市内企業からいただいた業務用で、パワーアップ。皆さんからのリクエストで、たこ焼き、焼きそば、焼とうもろこしを加えてお腹大満足のメニユーでした。縁日としては、的あてゲームを開催し、白熱したブースとなりました。最後は恒例の抽選会が行われました。当選した利用者は、興奮した様子で景品を受け取り、久しぶりに笑顔があふれる1日となりました。

市内の行事は再開してきているものの感染対策は継続される中、また皆さんの笑顔があふれるイベントに参加できる日が待ち遠しく感じました。



事業紹介 グリーンセンター/ ベーカリーめぐみ

今回は、ライフネットゆうばりで行っている事業の今年度の活動内容についてご紹介いたします。

グリーンセンターでは、昨年度時間をかけて開拓した畑を使って、野菜の栽培に力を入れていました。レタスやトマト、枝豆の他にも人参や無臭にんにく、なんとハバネロも収穫・販売してありました。地域の皆様がお求めやすい価格となっており、多くのお客様にご満足いただいております。ポップコーン用のトウモロコシは、収穫したのち、別の作業所に加工の依頼をするなど、連携した作業に取り組んでいます。

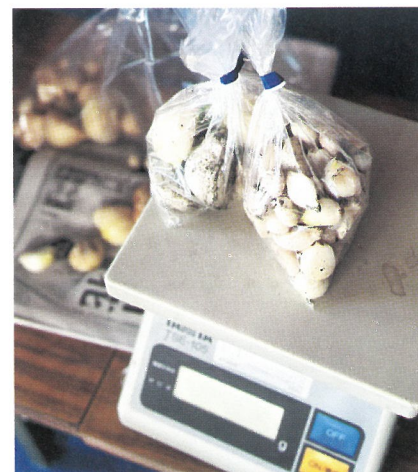
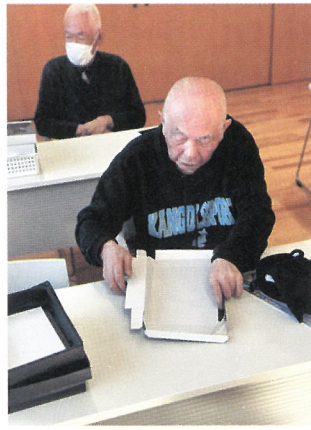
カレーハウス朋(とも)では、既存のメニューに加え、週替わりで2種類から選べるランチメニューを提供しました。常連客をはじめ、皆様にご好評をいただきました。

また市外福祉事務所からイベントへの出店依頼をいただき、たくさんの方々にご提供いたしました。昨今、外食の需要が減る中で、市内では珍しい宅配サービスを行っており、こちらでのご注文も多くいただいております。

ベーカリーめぐみでは、新しい商品の開発に励みました。リッチ感のあるシリーズパンの「あまおうブルーム」、形も可愛い「ずんだあんパン」、待望のハード系パンより「バゲット」等の新商品の発売。

また、既存のパンは、原材料の見直しや工夫により価格を維持しつつ、普段食べていただいている方にも飽きずに納得していただける味を目指しています。

販売先の拡大にも成功し、イベント出店ではありがたいことに毎度完売いたしました。今後も益々皆様から愛されるお店を目指していきます。



花の里こども園

今年は、小さいお友だちが多く、ますますにぎやかになっている花の里こども園です。

新型コロナウイルスにびくびくしながらも、楽しい行事を少しずつ進めることができた年でした。子どもたちの笑顔がたくさん見られていますのでご紹介いたします。

今年一年に感謝し、新しい年がすばらしい年となりますように。

皆様におかれましては、良いクリスマスとお正月をお迎えください。

0・1歳児 ちゅうりっぷ組 ちいさなちいさなうんどうかい

ちゅうりっぷ組は一番小さなお友だちのクラスです。現在13名、毎日様々な成長と共に楽しく過ごしています。

ちゅうりっぷ組の子どもたちは、音楽に合わせて身体を動かしたりすることが大好きです。わらべうたや手遊び、ダンスなどでは、ニコニコと可愛い表情を浮かべながら楽しんでいます。特にわらべうたの『ばすにのって』や『きゅうりができた』は、まだお話はできませんが「やってほしい!」というように保育士の元へ来る姿もあります。

10月1日には、園で初めての試みである、ちゅうりっぷ組のみの運動会を開催いたしました。普段とは様子の違うホールに入場した子どもたちは、不思議そうな表情を浮かべながらも、お父さんお母さんがいる事に嬉しそうな様子でした。かけっこや体操、ふれあい遊びなど一緒に行う中で、元気よく楽しむ子や少し恥ずかしそうにする子など様々な姿が見られました。この運動会で行った競技は日頃の保育でも取り入れており、今もお部屋で楽しく行っています。



1・2歳児クラス すずらん組 はじめての遠足

9月30日にすずらん組の大きなお友達キンチームは、岩見沢公園まで遠足に行ってきました。

行く前からとても楽しみにしていた子どもたち。事前活動では、お弁当製作をしました。折り紙でおにぎりを作ったり、お絵描きしたりと思い思いのお弁当ができあがりました。

当日は、ウサギやモルモットなど動物を見たり、シャボン玉やボールあそびをしたり、たくさん体を動かして遊びました。狭い所でじっとしているモルモットを見て、「はさまっちゃてる…」と心配する姿や「かわいいね」とお話ししながら見ていました。シャボン玉やボールあそびでも、草むらの上をたくさん走り回って楽しんでいた子どもたちです。

そして、待ちにまったお弁当の時間! お弁当を園外で食べるのが初めての子どもたちは、ドキドキ・ワクワクしているようでした。

星形になった人参やキャラクターのおにぎりなど、お友だちや先生に見せて喜んでいました。初めての園外活動、子どもたちにとっては楽しい思い出となったようです。



3歳児 こすもす組 うんどうかいがんばったよ

こすもす組は、男児4名、女児4名、計8名で過ごしています。
9月に行われた『はなのさとこどもえん うんどうかい』の今年のテーマは「いろいろなおしごと」でした。
月形町は農業が盛んな町なので、子どもたちには農業の体験として「農家」のお仕事と、クラスの担任2名が知床出身ということもあり「漁師」のお仕事に挑戦してもらいました。
前年度までは、小さいクラスで保護者の方と一緒に参加していた運動会ですが、今年度は幼児クラスにあがり、子どもたちだけの参加となりました。不安や緊張もたくさんあったことと思いますが、三輪車や一本橋など難しい競技にも、最後まで諦めず一生懸命に取り組む姿がみられました。
紅白リレーは、3, 4, 5歳児で行う競技です。誰にバトンを渡すのか、どこを走るのかなど、初めてでわからないことや覚えることもたくさんありましたが、頑張りやさんのこすもす組はお友だちと確認しあい、アンカーのひまわり組へバトンを繋ぐことができました。



4歳児 ばら組 園芸保育

年中児になると、活動の一環として取り組む園芸保育。命を育てるということや命の大切さ、命をいただくことの意味などを学んでいきます。
今回、ばら組で育てたお野菜は、かぼちゃ、とうもろこし、芽キャベツの3種類です。子どもたちには、まず命の話をし、種のまき方を伝えます。そこからは、見て、聞いて、覚えたことをしっかりと生かして一つ一つの種を丁寧にまきます。
毎朝、水やりを行い、育った苗の植え替えも子どもたち自で行います。そのようにして、大きなポットから畑へと植え替えし、実ったら収穫です。苗によっては、育ちが悪く、難しさなども感じていました。
子どもたちは、実ったお野菜を切って収穫するというのに、「かわいそう」と思う様子がありましたが、命はこのままだとなくなってしまうけれども、その命をいただくことで、みんなの命に繋がっていくことを伝えると、「ごめんね」と言いながらも丁寧に収穫し、喜びを感じていました。
この経験から得たことを胸に、どの命にも感謝をして今後も伝えていきます。



5歳児 ひまわり組 社会見学

10月28日に年長児ひまわり組の11人と一緒にバスとJRを乗り継いで千歳まで行ってきました。初めての公共のバスに少し緊張している様子が見られましたが、バス停まで見に来てくれるお父さんやお見送りに来てくれるお母さんの姿を見て安心して千歳まで向かうことができました。
初めは、カトリック千歳教会に行きました。神父様と一緒に祈りをして、お友だちを大切にすることと優しい心を持つことを教えてもらいました。その後、千歳水族館に行き、沢山のお魚を見てきました。千歳川を泳いでいる鮭を見て「沢山泳いでいる」「傷だらけで痛そう」など見た感想を話していました。
最後は、新千歳空港に行き、スタンプラリーをしてきました。ロイズの前を通るとガラス越しにチョコレートを作っている様子を見ることができ「全部食べたいね」「これお店に売ってる」など話す子どもたちが見られました。展望デッキでは、飛行機の離着陸が見学でき、飛行機に見入る姿が見られました。
社会見学を通して、一人で何でもやり遂げられる力を持っているということを知り、千歳まで自分たちの力で行けたという経験と自信を一人ひとりが得られたのではないかと感じています。



社会福祉法人雪の聖母園
静内ベビーホーム

園長 油井真弓

―元気・笑顔・チームワーク―

寒さに負けず、外で元気に遊ぶ姿は「こどもは風の子」といった感じででしょうか。

日常を大切に・・・を念頭に置き、毎日の生活が豊かになるよう保育をしております。日高では、春以降、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、緊張の毎日でしたが、コロナに対する認識も変わっては来ています。

子ども達の毎日を大切に、保護者の皆さまのご理解やご協力に感謝し、保育を行ってまいります。



まわるまわるスプリンクラー



楽しい水遊び
短い夏でも

0歳児はタライで水とボール遊びに夢中♡

新ひだか町は山と海に囲まれた自然豊かな地域です。夏の暑い時期は本当に短く、お盆を過ぎると肌寒さを感じます。

それでもここ2、3年は猛暑でしたが、今年は静内らしい気候で、過ごすことが出来ました。そんな短い夏を満喫して欲しいと思い、保育士が工夫し、ホースに穴をあけ、ナイヤガラを滝を作ったり、スプリンクラーを置いたり、又、0歳児クラスは、タライに少しの水を張りボールをいれました。

写真からも、とても楽しそうにしている声が聞こえてきそうです。子ども達の成長見守り、遊びながら又、生活しながら子ども達の気持ちを大切に援助していきます。短い期間の様々な経験がひと夏の思い出になってくれたら嬉しいです。



手作りナイヤガラの滝からお水が・・・





雨降りはお部屋あそびとおもっていた子どもたちは、雨が降っても、楽しい外あそびが出来る事を知りました。

保育士も合羽と長靴を履いて奮闘しています。

『水たまりを歩いたらどうなるんだろう歩きたいなー』等、子どもたちの興味や好奇心を大切にしたいと思い、始めました。

ベビーホームの保育で今回紹介するのは、雨の日遊びです。

雨の日あそび
 ぴちぴち
 ちやぶちやぶ
 ランランラン



十五夜

● 玄関にお飾りしています ●



七夕

● お母さんお父さんに
 願い事を書いてもらい
 こどもと掛けます ●



歯科検診

● 泣かずに頑張りました ●



行事紹介



ベビーホーム祭



のんびりと
 みんな 仲良く





ゆうばり きれいになったかな??



雪の聖母園 雪の聖母園祭(9人...?)



聖母園 レク交流会で焼肉を食べました



花の里 もうすぐクリスマス、馬小屋を飾りました



花の里 保育発表会-お弁当バスしゅっぱつしんこう



花の里 発表会での太鼓は気合十分です



ベビーホーム 砂遊び



ベビーホーム 総合避難訓練ピカピカな消防車と



オプス 実習生とリサイクル仕分け



マンマルーナ 月形高校3年生とのコラボ商品

がとつごさいました。

- ・雪の聖母園 家族会様
- ・株式会社ほくと給食様
- ・伊達カルメル会修道院様
- ・カトリック八雲教会様
- ・聖心女子学院母の会様
- ・金滴酒造株式会社様
- ・(有)札幌第一とも社様
- ・有限会社札幌北チャイルド社様
- ・株式会社ジャクエツ札幌店様
- ・株式会社フレイベル館 北海道支社様
- ・月形町赤十字奉仕団様
- ・月形更生保護女性会様
- ・高田書店様
- ・山崎歯科医院様
- ・出口小児科医院様
- ・株式会社鳥潟組様
- ・月形ライオンズクラブ様
- ・月形黒毛和牛母牛研究会様
- ・社会福祉法人南幌苑様
- ・JATA張市農協青年部様
- ・宇野郁夫様
- ・菅純恵様
- ・豊原一夫様
- ・城みすず様
- ・大谷真実様
- ・多大なるご支援、あり

寄付寄贈(順不同)



ゆうばり facebook



花の里 facebook



静内 facebook



雪の聖母園HP



本部 facebook

編集後記

当法人は月形町、夕張市、新ひだか町で事業を展開しております。

それぞれの拠点は距離(月形静内間がおよそ150km)があり、職員同士が顔を合わせる機会は中々ありません。広報担当も、月形町以外の職員でお会いしたことがあるのはごく一部です。

広報誌「陽だまり」は、3つの地区の行事や日頃の様子が詰まっているものとなります。普段見ることがない各事業所の様子を知ることができるため、私も楽しみにしています。

広報担当

発行

〒061-0500 北海道樺戸郡月形町字緑町21番地1

社会福祉法人 雪の聖母園

TEL(0126)38-5270 FAX(0126)38-5271